

□議員名：森山喜久

## 1 職員採用について

論点	4月1日から施行される会計年度任用職員制度について、会計年度任用職員が募集され、業務が滞りなく進めることができるよう、人員確保がなされているか。
回答	会計年度任用職員については、現在、雇用している臨時職員の職で来年度も必要とする職について、昨年12月から広報紙、ホームページ、ハローワーク等を通じて募集を行い、採用予定者を決定している。会計年度任用職員は現在の臨時職員と比べて給料等の処遇が改善されるとともに、サービスも正規職員に準ずるものとして、懲戒処分や人事評価の対象とするなど、職に対する責任も負うものであり、正規職員の業務を補完する役割を担うものと位置づけられており、この会計年度任用職員の任用を含め、職員の適正な配置となるよう確保に努めている。

論点	今までの臨時職員、常勤、非常勤含めて、任用根拠とか勤務時間、日数、業務内容の現状がばらばらであったが、今回、全てが任用根拠をもとに人事課で全て把握できたという認識で良いか。
回答	これまで、いろいろな採用方法があったものが、会計年度任用職員という形で統一されたことで、職員全体を把握できる、統一しているという状況である。

論点	早期退職者の現状について問う。
回答	今年度の定年退職者以外の退職者は6名で、退職の理由は結婚や他にやりたいことなど、様々である。退職に伴う職員の確保については、大学訪問やホームページ、SNSなどを活用して募集を行っているが、建築土木系の職員の採用は厳しい状況である。今後も広く周知を行うとともに、社会人枠の活用や年齢条件等の採用条件の見直しなどを行い、業務遂行に支障がないよう、職員の確保に努めていく。

論点	今年度、第4次人員適正化計画を策定していく予定と聞くが、職員が働きやすい職場環境づくりを含めて、全体計画の策定等を調整していた
----	---

	だきたいが、どう考えるか。
回答	業務する上で必要な人数を精査しながら、今、言われた会計年度任用職員など再任用職員などの職種も含め、総合的に勘案しながら、必要な人数の計画を立てていきたい。

## 2 市内文化財について

論点	市内文化財の維持管理の現状はどうか。
回答	市内には国、県、市併せて43件の文化財がある。文化財保護法や各条例に基づき所有者が管理し、それが困難な場合は管理責任者、管理団体が管理している。特に文化財愛護会の皆様方には長光寺山古墳を始め4カ所の管理をきちんとして頂き、厚くお礼を申し上げたい。

論点	山陽地区下津の長光寺山古墳に県内外から訪れているが、よく道に迷って聞かれると地元から相談があった。わかりやすい案内看板や誘導看板、駐車場の看板等々の設置はできないか。
回答	教育委員会して看板は必要だと十分認識しているので、計画的に進めていきたい。

論点	市ホームページに文化財だけの記載だけでなく、駐車場の詳細情報等の情報があれば、来られる人達の参考になると思うがどうか。
回答	文化財の写真、解説、所在地、地図が表示されているが、例えば駐車場を撮影した写真を配置する、マップも位置情報を通信できるように設定しておく、文化財までのルートが示されるので、その説明書きも加えるなど、ホームページの改善に取り組みたい。